

■ 三遠南信地域連携ビジョン推進会議会長 浜松市長 鈴木康友

の今後の新連携に対します取り組みの報告でございます。以上、よろしくお願いを申し上げます。

皆様、お疲れさまでございました。

それでは、分科会に入る前に新連携につきまして私から若干のご報告をさせていただきます。

平成20年3月に策定をいたしました三遠南信地域連携ビジョンにおきまして、平成24年度にビジョンに基づきました連携事業を行うため、恒常的な新連携組織を設置するとしております。三遠南信地域連携ビジョン推進会議、SENAでございますが、平成22年11月に飯田市で開催いたしましたサミットにおきまして、三遠南信地域の融合に向けまして、広域連合など、平成24年度からの新連携組織への移行について準備を進めると、昨年宣言をしたところでございます。

そして、平成23年6月開催のSENAの委員会におきまして、新連携組織検討専門委員会というものの設置を決議いたしました。このSENAの委員会の後、私どもと副会長であります豊橋、浜松、飯田の3市長さん、商工会議所会頭で協議・調整をいたしまして、新連携組織の検討に係る基本的な方向について合意いたしました。

その合意内容でございますが、将来の広域連合設置に向けまして、新連携組織検討委員会で検討していくと。新たな組織は現在と同様に、地方公共団体と経済団体との官民連携組織としていくというものでございます。今後、専門委員会を中心にいたしまして、共同してどういう事務に取り組んでいくのか、またスケジュール等について検討していく、というものでございます。

以上が、特に昨年から今年にかけて